

## ベスト・シーニックバイウェイズ・プロジェクト

シーニックバイウェイ北海道推進協議会は、シーニックバイウェイ北海道の「美しい景観づくり」、「活力ある地域づくり」、「魅力ある観光空間づくり」の活動において、他の模範となり、将来への発展性が高く評価できる活動を選出・表彰する取り組みとして「ベスト・シーニックバイウェイズ・プロジェクト」を2008年度から実施しています。表彰は、活動団体の投票で選出する【活動団体賞】、有識者委員の審査を経て選出する3つの【部門賞】及び各部門賞から最も優秀な活動を【最優秀賞】として決定・表彰しています。



※詳細は、シーニックバイウェイ北海道推進協議会HPをご覧ください。

### 〈ベスト・シーニックバイウェイズ・プロジェクト2022〉2023年12月12日(火) 第21回推進協議会にて決定

〈最優秀賞〉〈活力ある地域づくり賞〉〈活動団体賞〉 最優秀賞 地域部門賞 活動団体賞

#### 自転車ツーリング事業 「自転車」をキーワードとする協働のまちづくり 萌える天北オロロンルート

入学数減少により廃校の危機に瀕する苫前商業高校と人口減により、地域活力が衰退する留萌地域による「待ったなし」の両者のコラボ事業。学校と留萌地域をPRするために、高校生と大人たちが2泊3日寝食を共にしながら約200kmの自転車旅をこれまで3回行いました。各種報道などでも取り上げられ、高校の認知度向上に寄与しています。地域活力の維持と観光地域づくりを両立する「自転車」をキーワードとした協働まちづくり事業です。



〈左上〉3年間で留萌管内を走破  
〈左下〉安全走行のための伴走やエイドの設営などをフルサポート  
〈右上〉高校生と大人たちでサイクルラックを製作  
〈右下〉サイクルラック設置箇所を考えるワークショップ

〈美しい景観づくり賞〉

#### 地域協働による20年の道づくり 千歳ウエルカム花ロードver.20 支笏洞爺ニセコルート

20年前、寂しかった新千歳空港周辺の道路に子ども達と花を植え、北海道を訪れる方々へ「おもてなし」の気持ちをあらわしたいと始まった活動です。20年目は、ガーデンフェスタ2022(恵庭市開催)のシンボルフラワーを空港前にも植栽し、ウエルカム北海道エリア一体でおもてなしの景観を演出しました。各機関の制度活用、企業協賛、クラウドファンディング、小学校での花ロード特別授業、定期的な除草など、様々な団体・機関が連携、工夫しながら美しい景観づくりに取り組んでいます。



〈左上〉空港前(国道36号)へピンク色の桃色吐息、黄色のサンフィニティを植栽  
〈左下〉ガーデンフェスタのシンボルフラワー  
〈右下〉花ロード特別授業

〈美しい景観づくり賞〉

#### 札幌市南区の冬を美しい光で彩る 「冬の雪あかり」の取り組み

札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山渓ルート

札幌市南区の各地区(全10地区)で、スノーキャンドルやイルミネーション、雪像などを設置して、幻想的な光の景色を楽しむ冬のイベントが「冬の雪あかり」です。札幌シーニックバイウェイの活動団体の多様な地域住民や企業・団体が参加しており、美しい景観づくりに加え、住民や関係団体の交流、相互の協力関係の構築、新たな賑わい創出をもたらしています。各地の活動と一緒に広報・PRすることにより、観光客の誘致と促進に繋がっています。



札幌市立大学がチラシのデザイン制作を協力  
藻岩地区  
定山渓地区  
石山地区  
芸術の森地区

〈魅力ある観光空間づくり賞〉

#### きた北海道エコ・モビリティの推進 地域のブランド化に向けた取り組み

天塩川シーニックバイウェイ×宗谷シーニックバイウェイ

エリア内の自然環境や魅力的な資源を体験し、移動そのものが観光となる新しい旅のスタイル「きた北海道エコ・モビリティ」を推進してきました。その一つの形として「TEPPEN-RIDE」を開催、「地域ブランド」として定着させ、地域への経済効果・周遊性向上へ繋げたいと考えています。5回目の記念開催では、北海道サイクリング協会主催の「とんがりライド」と時期等を調整し、「北海道縦断ライド」も開催しました。東京や大阪など道外参加者も増え、新聞等でも紹介され、活動の周知にも広がりを見せています。今後は、サイクリングと他アクティビティを組合せて楽しめる旅を紹介するなど、TEPPENの隣で参加者の家族や友達と一緒に楽しめる企画も考えていきたいと思います。



北海道の南「襟裳峠」から、北「宗谷峠」まで約715kmに挑戦!  
とんがりライド2022からTEPPEN-RIDE 2022へ接続して  
TEPPEN-RIDE 2022 参加者たち  
北海道縦断のタスキを、とんがりからTEPPENガイドへ(右)メカニックサポートカー帯同もTEPPENの魅力!  
ゴール「宗谷峠」で記念写真

## 民間企業等との包括連携協定

シーニックバイウェイ北海道では、競争力のある美しく個性豊かな北海道を実現していくことを目的として、民間団体・企業等と、北海道固有の景観、自然、歴史、文化、レクリエーション資源等地域資源を最大限活用し、双方の、資源を有効活用した効果的連携活動として、連携に関する包括協定制度を平成24年度より開始しました。

**民間企業**

- 国内外のネットワークを活かした情報発信
- それぞれの企業が培った技術とノウハウ
- 環境に配慮した取組等

**連携・協働による資源の有効活用**

**シーニックバイウェイ北海道**

- 景観、自然、歴史、文化等の地域資源を活用した取組
- 地域の住民、NPO、企業、行政等多様な主体が一体となった体制
- 全国的なネットワーク(日本風景街道)
- 官民による協議会及び学識者により組織されるアドバイザー会議

**連携協定の項目**

- シーニックバイウェイ北海道による地域活性化に関する取組
- シーニックバイウェイ北海道の広報・啓発に関する取組
- シーニックバイウェイ北海道の人材育成やネットワーク形成に関わる取組
- その他、シーニックバイウェイ北海道の推進に関わる取組

### 競争力のある美しい個性豊かな北海道

#### ● 包括連携協定企業との連携取組事例

**(株)ヨタレンタリース札幌**

〈平成24年12月1日締結〉

- シーニックドライブマップ、ScenicByWay(ドライブ観光情報紙)での企業広告
- ヨタレンタリース札幌 札幌駅前店、新千歳空港ポプラ店でのシーニック展示ブース設置 他

正面受付カウンター上部壁面への景観パネル設置→(新千歳空港ポプラ店)

**Follow Me Japan Pte.Ltd.**

〈平成24年12月1日締結〉

- シーニックルートを巡るドライブツアー企画
- シーニックルートを巡るサイクリングツアー企画
- シンガポール旅行商談フェアでのPR

シーニックルートを巡るサイクリングツアーを企画→(支笏洞爺ニセコルート)

**北海道ココ・コーラボトリング(株)**

〈平成24年12月1日締結〉

- 景観に配慮したオリジナルデザイン自動販売機の設置協力
- ルートの清掃活動や植樹活動への協力
- ルート主催スタンプラリーへの賞品提供

寄付型自動販売機の設置し、ルートのポスターを展示→

**(株)デンソーソリューションズ 北海道支社**

〈平成25年6月24日締結〉

- シーニックバイウェイ北海道広報ツール(HP、冊子など)へマップコードの無償提供
- シーニックバイウェイの広報ツールへMapQRを提供

**鶴雅グループ(株)阿寒グランドホテル**

〈平成25年6月24日締結〉

- 鶴雅グループ企業のパン・デ・パンでの『釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ』の情報を発信

店内にシーニックバイウェイ北海道等のチラシを設置→

**(株)北海道日本ハムファイターズ**

〈平成29年10月24日締結〉

- エスコフィールドHOKKAIDO内「シーニックバイウェイ北海道展」
- 北海道日本ハムファイターズ、道の駅、シーニックバイウェイ北海道の特別連携企画として、「ファイターズコラボ道の駅」で限定コラボグッズの販売、フォトパネルの設置等を実施

**(株)知床グランドホテル**

〈平成30年11月5日締結〉

- 国道334号線沿いの雪かきボランティアや夏季道路景観作りのための花植えボランティア
- 地域住民や観光客との交流ポイントを維持するための活動

国道沿い花壇の花植えボランティア→

**クリプトン・フューチャー・メディア(株)**

〈令和3年7月15日締結〉

- 北海道全179市町村公認の地域密着メディア「Domingo」のHPやスマホアプリから継続的な情報発信を行う

**SOMPOひまわり生命保険(株)**

〈令和5年12月12日締結〉

- シーニックバイウェイ北海道の景観保全活動(除草、除雪、清掃)等への人的支援
- 「千歳ウエルカム花ロード」の除草活動への人的支援
- 「ひまわりまつり」の来場者への記念撮影サービスなどの運営を支援

**特定非営利活動法人 北海道遺産協議会**

〈令和5年3月13日締結〉

- 「秀逸な道」展「秋」@チ・カ・ホでのコラボ
- ドライブ観光情報誌「Scenic Byway」vol.30寄稿

「秀逸な道」展「秋」@チ・カ・ホ→

**北海道エネルギー(株)**

〈令和5年12月12日締結〉

- 各SS店舗内(道内85カ所)設置サイネージによるシーニックバイウェイ北海道のルートや取組紹介
- ドライブMAP内でのシーニックバイウェイ北海道のルートや取組紹介
- 北海道エネルギー公式SNSアカウント上でのシーニックバイウェイ北海道に関する情報発信

※詳細は、シーニックバイウェイ北海道推進協議会HPをご覧ください。





## シーニックデッキ

地域の風景をゆったりと楽しんでもらうために、沿道に設置したデッキ(視点場)です。ルートおすすめの美しい景観を心ゆくまで堪能できます。



## シーニックカフェ

地元ならではの魅力を味わえるシーニックカフェ。ルート活動団体主催の期間限定のカフェや、ルートおすすめの飲食店などです。



WELCOME 地元おススメの 景色や食を楽しむなら

シーニックデッキ・シーニックカフェへ!

★北海道内各地のシーニックカフェ・デッキ等の情報はこちらから▶▶▶

シーニックカフェには、プレートが設置されています

## ビューポイント パーキング

ふと立ち止まりたくなるような北海道らしい酪農風景、田園風景、そして花畑など景観に優れた駐車場です。



★ビューポイントパーキングの情報は、北海道開発局HPをご覧ください。

## シーニックバイウェイ情報拠点

ルート内の情報をチェックしたり、地域のパンフレットを入手できます。



(左)十勝シーニックバイウェイトカプチ雄大空間 情報拠点  
(右)山麓ルートマップ2023

## シーニックの森づくり

### ●シーニックバイウェイ北海道における環境配慮の取り組み

「シーニックの森づくり」は、シーニックバイウェイ北海道の取組みを通して、CO<sub>2</sub>吸収源となる森づくりを行うもので、観光客の皆さんをはじめ、地域住民、NPO、関係機関が連携して森づくりを行っています。現在、全道には4箇所のシーニックの森があります。

### ●シーニックの森づくりが目指すもの

#### ▶訪れる方との出会いを大切に育てたい

樹木は成長するほどCO<sub>2</sub>の吸収量が飛躍的に増加します。観光客の皆様が植樹した木は、シーニックの森として成長していきます。自分が植樹した木に愛情を持ち、成長を現地に訪れて見てもらう。そんなつながりも育てていきたいと思っています。

#### ▶環境に優しい新しい旅の形を一緒に育てたい

多くの人に地域の宝を見てもらうためには、車の利用が必要となりCO<sub>2</sub>をどうしても排出してしまいます。多くの人に森づくりに参加してもらい、楽しみながら環境にも優しい、新しい旅の形を広めていきたいと思っています。

#### ▶地球環境のことを考えるきっかけにしてほしい

成長が早いといわれているトドマツは30年間で約12mの高さに成長しますが、固定できるCO<sub>2</sub>の貯蔵量は1本あたりガソリン約70Lにすぎません。日々の生活でのCO<sub>2</sub>削減を考えるきっかけになってほしいと思っています。

### ●シーニックの森の取り組み

#### みんなで育てるシーニックの森

シーニックバイウェイ北海道の各ルートでは、景観づくり、自然復元、体験学習や交流等を目的としてCO<sub>2</sub>吸収源となる森づくりを行っています。

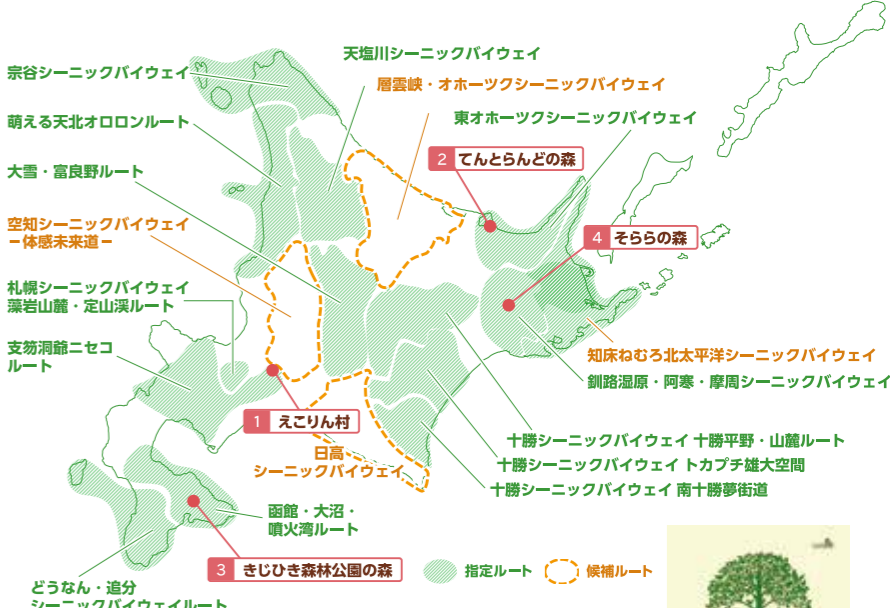
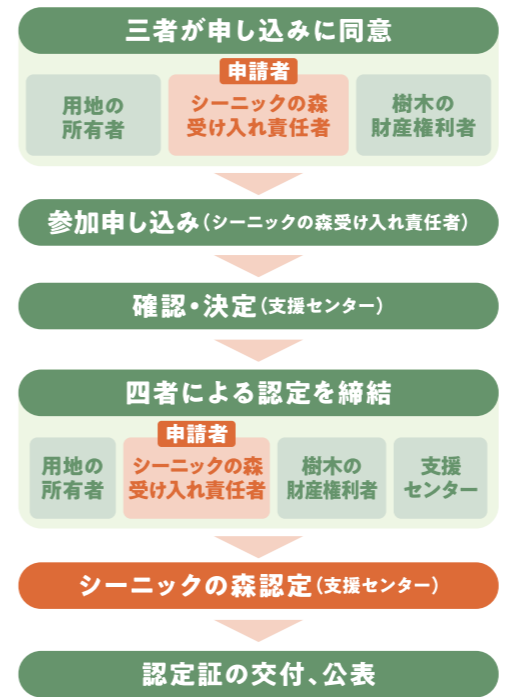


### シーニックバイウェイ・カーボンオフセット

シーニックの森の取組みのひとつとして、ドライブ観光などで排出されたCO<sub>2</sub>をオフセットするために、観光客が費用を負担して、シーニックの森に植樹するシーニックバイウェイ・カーボンオフセット※を行っています。

※カーボンオフセットとは、日常生活や経済活動において排出されるCO<sub>2</sub>等の温室効果ガスを、削減努力を行った上で、それでも排出される量に見合った削減活動(植樹等)に投資することで埋め合わせるという考え方です。

### ●シーニックの森認定までの流れ



### 現在、4つの「シーニックの森」があります

シーニックの森の認定、カーボンオフセットの認証等の対応は、(一社)シーニックバイウェイ支援センターが行っています。





(一社)シーニックバイウェイ支援センター(略称:リソースセンター)は、シーニックバイウェイの理念を浸透させるための広報活動を行います。また、活動の活性化に不可欠な民間と行政との連携を図り、これらの連携を専門的な観点から支援する組織として、美しい景観づくり、魅力ある観光空間づくり、活力ある地域づくりに貢献します。

### シーニックバイウェイ支援センターの目的

日本におけるシーニックバイウェイの持続的な推進・普及・発展を支援することを目的としています。

### シーニックバイウェイ支援センターの事業内容

1. シーニックバイウェイに関わる情報共有・発信・連絡
2. シーニックバイウェイに関わる各種調査・研究
3. シーニックバイウェイに関わる広報・プロモーション
4. シーニックバイウェイに関わる人材育成・教育・資格認定
5. 各種団体の連携を促進するためのコーディネーション
6. 前各号に掲げる事業に付帯または関連する事業

### お問合せ

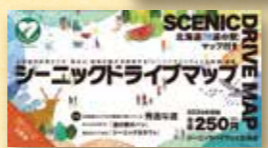
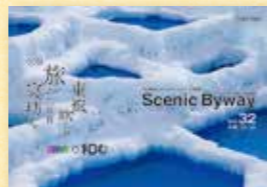
〒001-0011 札幌市北区北11条西2丁目2-17 セントラル札幌北ビル  
【電話】011-708-0429 【FAX】011-708-0430  
【E-mail】info-sc@scenicbyway.jp  
【URL】http://www.scenicbyway.jp/

### 主な業務

- ・ホームページの運用
- ・メールリストの運用
- ・各種出版物の発行
- ・広報誌の発行
- ・シーニックフォト倶楽部の運営
- ・勉強会の開催
- ・ビジネスモデルの開発
- ・ロゴマークの管理委託
- ・刊行物等の制作・販売
- ・視察の企画・受け入れ
- ・米国視察企画
- ・シーニックドライブマップ
- ・「シーニックの森」の認証



支援センター  
ホームページ



上:北海道のよりみちドライブ情報誌  
「Scenic Byway vol.32」  
下:「シーニックドライブマップ2024年度版」

## シーニックバイウェイ北海道

# Q&A

### どうして「シーニックバイウェイ北海道」に 取り組むことになったのですか？

北海道をドライブする個人型の旅行が人気となっています。アンケート調査によると、その一番の目的は「景観を楽しむこと」。このため、景観をもっとよくなり、守ったりすることが、これからの北海道観光を振興し、地域を元気にするために重要な取り組みあると考えました。そしてこの取り組みを進めるにあたって、行政が参加しながらも、地域の方々が自らの発案により行うことが、成功させるためには必要と考えました。このため、平成15年、16年に地域の方々と行政が連携して様々な取り組みを試行的に実施し、その成果を踏まえ、平成17年3月より「シーニックバイウェイ北海道」として本格的にスタートしたところです。

### なぜ「シーニックバイウェイ」という 名称なんですか？

「シーニックバイウェイプログラム」はアメリカで先行的に取り組まれている制度ですが、これを参考にしつつも、北海道にあった仕組みとしたため、アメリカのものとは異なる制度となりました。しかし「政府が進めるビジョン・ジャパンの一環として外国人観光客へのPRをしやすいこと」「日本語の概念にない取り組みであること」「寄り道バイウェイ」という概念がよいこと」などの理由から、学識経験者や観光の専門家からなる委員会にて「シーニックバイウェイ北海道」と命名されました。なお、現在、全国を対象とした「日本風景街道」という取り組みが広がっているところです。

### 日本風景街道とは？

「日本風景街道(シーニックバイウェイ・ジャ

パン)」は、「地域の資源」と「活動する人たち」、「活動内容」、「活動の場」から構成されるもので、それらを総称して「風景街道」といいます。令和6年2月現在、全国で合計145ルートが登録され、その中にシーニックバイウェイ北海道のルート(指定ルートのみ)も含まれています。日本風景街道は、全国の様々な活動を通して地域活性化、観光振興を推進しています。

### 地域の方々の発案が必要というのは どうしてですか？

沿道の景観を作っているのは、農業や林業、街中の商店街など地域の方々の営みです。地域の方々が元気に暮らし、経済的にも豊かになり、地域生活の営みが維持されることが、そのまま沿道の風景の保全につながると思われまます。これら「景観」「観光」「地域」という三つの要素を(道)を通して連携させ、地域を元気にして望ましいと考えます。

### 中心となっているのは誰ですか？

活動の中心は地域の方々です。この取り組みは「みち」をきっかけとして、地域の方々の主体的な取り組みを「シーニックバイウェイ北海道推進協議会」という総合的な組織でバックアップするものです。「シーニックバイウェイ北海道推進協議会」は、北海道商工会議所連合会、北海道経済連合会、北海道観光振興機構などの道内の経済団体、北海道や国の出先機関などの行政機関等で構成され、事務局はこの取り組みを始めた国土交通省の地方支分部局である北海道開発局が担当しています。

### 支援組織の「シーニックバイウェイ 支援センター」って何ですか？

シーニックバイウェイにかかわる情報共有、発信、

連絡、及び広報、プロモーションと各ルートの活動へのアドバイスを行うため平成17年7月に設立されました。シーニックバイウェイ北海道推進協議会の実施要綱・第17条で定める基本方針に基づき、支援組織として指定されています。

### この取り組みに参加すると どんな支援があるのですか？

指定ルートでは、「行政連絡会議」が設置され、関係機関により、各種活動への参加、連携した活動などが行われるとともに「シーニックバイウェイ支援センター」によって、広報・プロモーションなどが積極的に行われます。また、候補ルートでは、指定ルートの申請に必要な「ルート運営活動計画」を地域の方々が作成するにあたり、ワークショップの開催や参加など運営計画策定のお手伝いを関係機関が行います。

### どうして「秀逸な道」に取り組むこと になったのですか？

平成28年3月に閣議決定された「第8期北海道総合開発計画」では、北海道において、アジアの中でも特徴的に魅力的な観光資源を活かしながら「世界水準の観光地」を目指すこととしており、このため、各地域における景観等の地域資源を世界に通用するレベルまで磨き上げる取組を促進することとしています。これを踏まえ、地域景観の保全・活用により「美しい景観づくり」「活力ある地域づくり」「魅力ある観光空間づくり」を総合的に推進する「シーニックバイウェイ北海道」の取組の一環として、魅力的な景観等を有する道を地域の観光資源として活用する、シーニックバイウェイ「秀逸な道」の取組を開始することとしました。

## ルートの 紹介



# Scenic Byway HOKKAIDO

走りたい道がある。会いたい人がいる。私だけの風景がある。  
シーニックバイウェイ北海道。

雄大な北海道。

その景観をより美しく、地域をもっと元気に、そして観光空間には更なる魅力を。

シーニックバイウェイ北海道は、みちが繋ぐ美しい北海道づくりを目指し、活動しています。

まだ知らない、北海道のみちへ。いつもの風景から、まだ見ぬ景色へ。

走りたい道に、きっと出会えるはず。

## 支笏洞爺ニセコルート



### 美しい湖と秀峰、 火山に出逢えるルート

支笏洞爺国立公園とニセコ積丹小樽  
国立公園の2つの国立・国定公園を  
走る支笏洞爺ニセコルートは美しい湖  
と秀峰、火山に出逢える地域です。支  
笏洞爺ニセコルートは3つのエリアで  
構成されています。



千歳ウエルカム花ロードver.21(ウエルカム北海道エリア)



活火山の迫力と被災を学ぶ学習会(洞爺湖エリア)



ビューポイントの現地診断調査(ニセコ羊蹄エリア)